

## 特別支援 国語科学習指導案

平成 24 年 11 月 3 日（土）5 校時

特別支援 2 組 男子 3 名女子 2 名 計 5 名

授業者 金城 理嘉子

### 1 単元名

絵を見て、お話や吹き出しを考えよう

### 2 単元目標

4 コマの場面の様子をもとに、楽しくお話や吹き出しを考えることができる。

### 3 単元について

#### (1) 教材観

新聞の絵（四コマまんが）から、お話を作るための情報を得て、「誰が」「どうした」をはっきりさせながら、お話の流れを捉えさせる。4 コマの絵は、起承転結の場面になっており、気持ちや様子を想像しながら順序よくお話を考えることができるようになっている。登場人物の様子や動きを想像したり、会話を声に出して言ってみたりして、お話を楽しむことのできる教材である。

#### (2) 児童観

4 コマまんがをつかった本単元では、児童に親しみやすい教材ということもあり、意欲的に取り組む姿がみられる。4 コマまんがは、四つの場面で構成されているが、正しく内容を読み取ることが困難な児童もいる。また、読み取ることができても気持ちや場面に合った言葉を想像することを苦手とする児童もいる。

本学級の児童は図書館で本を借りて読書を楽しむことが定着しており、読書が好きな児童が多い。発表については、意欲的に発表する姿が見られる一方で、恥ずかしさや間違いを恐れる気持ちから全体の場で自分の意見を発表することを苦手とする児童もいる。しかし、友だちと話すことは、全員が概ね好きと答えていることから、話し合い活動を中心に、自分の考えを発表することへの抵抗感を取り除いていけるようにしたい。

#### (3) 指導観

楽しくお話や吹き出しを考えることができるために、それぞれの場面の登場人物の行動に着目させ気持ちや様子を想像して発表したり、吹き出しを考えたりする活動を取り入れていく。その際、それぞれの児童の言葉で自分の考えを表現させるようにしていきたい。そして、全体であらすじを理解確認しながら、話や吹き出しを考えることにもつなげていきたい。まとめの段階では、書いた吹き出しを交流したりする場面も取り入れ、自分の考えを深めながら、友だちの良さも感じ取らせたい。また、4 コマまんがの楽しさを味わわせ、もっといろいろな4 コマまんがを読みたいという思いにつなげたい。

#### 「うるま市実践9項目」との関わり

ねらいを明示した授業の実践	学習のめあてを明確に伝え、学習意欲を持たせる
教材・教具・説明の工夫	新聞に掲載された親しみやすい教材 拡大した掲示物
板書の工夫	子どもの興味を引く板書 チョークの色分け
形成的評価（理解確認）	「吹き出し」の記述の確認 対話による確認
自己評価の実施	「考えたこと」の発表 授業の振り返り
言語環境の整備と言語活動の充実	「吹き出し」を考える 発表 対話

4 本時の学習 ( 5 / 5 時間 )

(1) ねらい

4 コマの場面の様子をもとに、楽しくお話や吹き出しを考えることができる。

(2) 授業仮説

- ・身近な新聞の漫画を利用することで、親しみを持ち意欲的にお話を考えることができるであろう。
- ・どのようなお話を話し合う場面において、「誰が」「何をした」かに着目させ、登場人物の動きを確かめることによって、お話の順序が分かり、吹き出しを考えることができるであろう。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点 ( 実践 9 項目 )	評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュ教材をする。</li> <li>・前時に書いたお話の文章を音読する。</li> <li>・学習のめあての確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を発しやすい雰囲気を作る。</li> <li>・前時の学習を想起させる。</li> <li>・学習のめあてをつかませる。</li> </ul> <p>ねらいを明示した授業の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをつかむことができる。</li> </ul> <p>( 観察 )</p>
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の四コマまんがの各場面を見て「誰が」「何をした」について話し合う。場面ごとにまとめる。</li> <li>・まとめをつないで、できたお話をみんなで音読する。</li> <li>・ワークシートの吹き出しの言葉を考える。</li> <li>・吹き出しに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰が何をした」に着目させる。</li> <li>・黒板にまとめながら書く。</li> <li>・全員で確認する。</li> </ul> <p>教材・教具・説明の工夫 板書の工夫 形成的評価 ( 理解確認 ) 言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにいれる言葉を自分なりに考え、表現する。</li> <li>・吹き出しは、会話、気持ちのどちらでもよいことに気づかせる。</li> <li>・書けない児童は、自信がもてるような言葉かけをし、支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示をよく聞き、考えることができる。</li> </ul> <p>( 観察 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に答えることができる。</li> </ul> <p>( 発言 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像しながら楽しく吹き出しを考えたか。</li> </ul> <p>( 観察 )</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できた吹き出しを発表する。</li> <li>・友だちの発表のよいところを見つけながら、お話を聞く。</li> <li>・これまでの学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自らの言葉を用い、その子なりの表現が工夫できるようにする。</li> <li>・4 コマまんがの楽しさを振り返り、もっともっと4 コマまんがを読んでみたいという意欲を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しを発表することができたか。</li> </ul> <p>( 観察 )</p>

(4) 評価

4 コマの場面の様子をもとに、楽しくお話や吹き出しを考えたか。